

# BUSINESS REPORT 2010

ビジネスレポート2010

2010年1月1日～2010年12月31日

株主の皆様へ

## 初の連結決算は、収納代行サービスの好調により大幅な増収を達成。 株主の皆様の日頃のご支援に感謝を込めて、配当を開始いたしました。

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここに当社第11期(2010年1月1日から2010年12月31日まで)の営業状況をご報告し、次期の取り組みについてご説明させていただきます。

### 当期(2010年12月期)の営業状況

当社は昨年1月、収納代行業務の委託先であるトランスファーネット株式会社を連結子会社化しました。そのため、当期より連結決算を導入しています。以下の業績報告における前期比増減は、前期単体数値との比較です。

当期は、収納代行サービスが損害保険会社向けを中心に好調に推移し、資金繰り支援サービスも順調に拡大した結果、連結売上高が12億48百万円(前期比26.3%増)となりました。

利益面も、連結営業利益1億95百万円(同4.4%増)、連結経常利益1億94百万円(同3.0%増)と増益を果たしました。しかし、昨年8月から導入された外為証拠金取引のレバレッジ規制による影響を受け、利益率の高いクイック入金サービスの取扱いが減

少したことから、期初の見込みを下回りました。また、法人税等調整額の減少などにより、連結当期純利益は1億74百万円(同3.1%減)となりました。

なお、当期より株主の皆様への利益還元として、配当を開始しました。初配となる当期末配当は、1株当たり3,000円を実施させていただきました。

### 次期(2011年12月期)の取り組み

次期は、8月に外為証拠金取引のレバレッジ規制が一層強化されるため、クイック入金サービスの取引件数がさらに減少する見通しです。その中で当社は、収納代行サービスを中心とする基幹ビジネスにおいて、既存利用業態を深耕しつつ、新規業態への展開や複合サービスとしてのスキーム拡大に注力していきます。また、ファイナンスサービスについては、ファイナンス会社との連携を図り、取扱金額を増加させていく考えです。

そして、こうした既存ビジネスの積み上げに加え、目下準備を進めている中国ビジネス支援業務や、将来の収益に結びつく周辺ビジネスの立ち上げに向けて、積極的な

取り組みを行っていきます。

なお、次期における設備投資額は、ハード・ソフト合わせて1億40百万円、減価償却額は32百万円を予定しています。

次期の連結業績については、売上高13億86百万円(当期比11.1%増)、営業利益2億32百万円(同18.9%増)、経常利益2億18百万円(同12.4%増)、当期純利益2億7百万円(同18.6%増)と増収増益を見込んでいます。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社事業へのご理解とともに一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



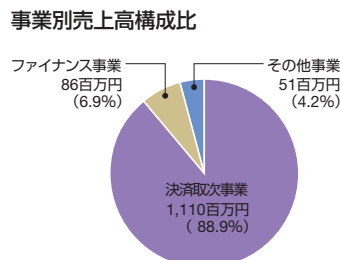
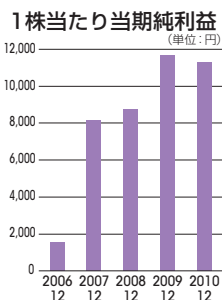
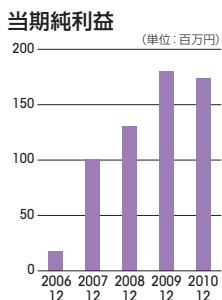
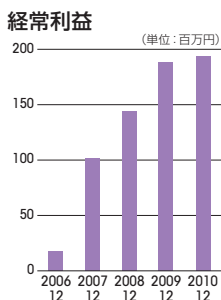
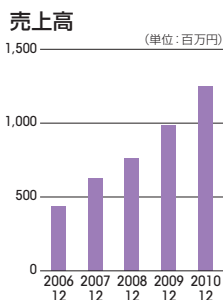
代表取締役社長

江田 敏彦

1977年、三井銀行(現：三井住友銀行)に入社。企画担当責任者として、企業間決済や資金運用機能の企画・開発に携わる。その中で、各企業の要望と金融機関が提供できる機能や対応との間のズレの解決を模索する。

銀行の統廃合を機に、2000年、ユーザーサイドに立って金融機関のサービスを利用し、系列を越えた決済サービスの実現を目指しビリングシステム株式会社を設立。現在に至る。

## 財務ハイライト



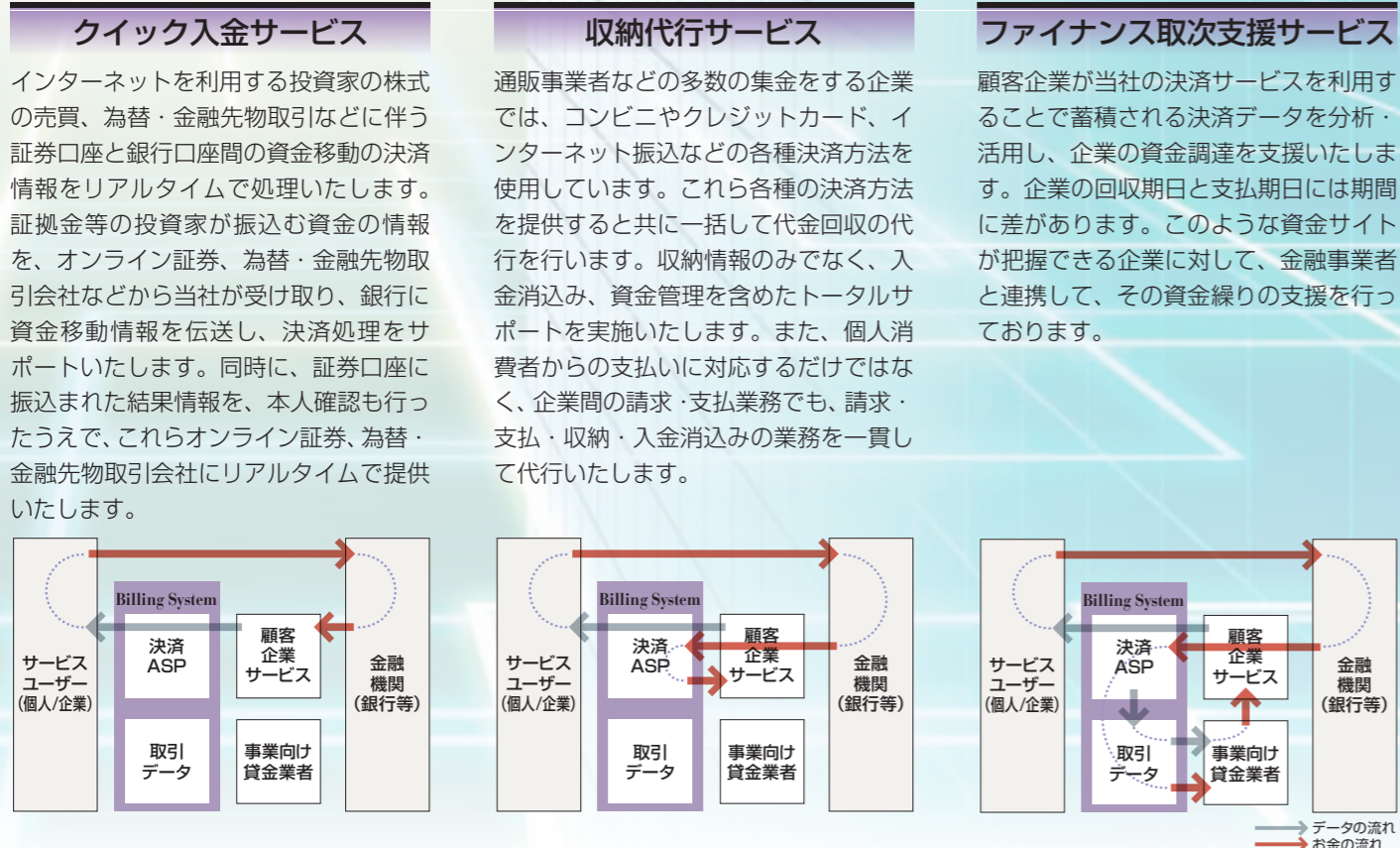
2009年12月期までは単体、2010年12月期は連結決算ベースとなります。

私たちは決済情報に基いた業務処理の効率化を図る「マネーチェーン・マネージメント」の思想のもと、企業のあらゆる決済業務を支援いたします。

銀行・郵便局・信用金庫・農協などさまざまな金融機関と一般企業とを結ぶ決済サービスのプラットフォームを構築し、ASP(ソフト期間貸し)で提供することで、企業の資金回収業務・資金支払業務・資金繰りなどのあらゆる決済業務の効率化のお手伝いをしております。

# BUSINESS MODEL

ビルディングシステムのビジネスモデル  
事業体系は主に以下の三つになります。



## 今後の成長戦略

既存ビジネスの積み上げに加えて、今後の事業展開へとつながる、新規ビジネスの稼働を実現いたします。

### ▶2011年12月期の施策

#### 1 決済プラットフォームの新スキームの拡大

- 決済支援サービスとしての請求、集金、入金消込み、送金代行、ならびに、ファイナンス支援サービスとしての前払い、仕入代行を推進するにあたり、他社サービスに当社機能を組み込み、複合サービスとしての展開を図る

#### 2 中国ビジネス支援業務の展開を推進

- 貿易センターの主催する日本ブランド協議会の機能の構築推進を図り、中小企業の海外(中国)での商品、製品、サービス販売を支援推進
- 決済基盤を中心としたデータ管理による中国ビジネスの稼働開始

#### 3 既存ビジネスの積み上げに加えて、2011年度以降につながる、新規ビジネスの稼働を実現

- 企業グループのグループCMS推進コンサルティング、ならびにCMS運営支援の獲得を推進滞留資金の圧縮と一括支払の推進により、数億円規模の年間経費削減の実現を支援
- 中国での展開と並行したアジア地域全般で利用できる日本企業のための貿易・決済基盤の構築
- 病院等への決済支援サービス展開による医療関連分野における管理業務の効率化推進
- マルチ決済ハブの機能向上

### 2011年12月期 業績見通し

単位：百万円

科目	2010年12月期	2011年12月期	
	実績	通期計画	当期比
売上高	1,248	1,386	11.1%増
売上総利益	527	579	9.8%増
営業利益	195	232	18.9%増
経常利益	194	218	12.4%増
当期純利益	174	207	18.6%増

## 配当による利益還元を開始

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして認識しています。これまでの利益配分においては、経営体質の強化と将来の成長に備えて内部留保の充実を優先させていただいておりましたが、この度、株式保有のご支援に報いるべく、剰余金の配当を開始いたしました。当期につきましては、2010年12月31日を基準日とする1株当たり3,000円の期末配当を実施させていただきました。引き続き業績の拡大と財務の安定化による企業価値の向上を目指していく中で、内部留保とのバランスを勘案しつつ、さらなる利益還元への拡充に努めてまいります。

## 「デロイト 日本テクノロジーFast50」に3年連続選出

当社は、2010年11月17日に有限責任監査法人トーマツが発表した第8回「デロイト 日本テクノロジーFast50」において、2008年・2009年に続き3年連続選出の栄誉に輝きました。「デロイト 日本テクノロジーFast50」は、日本国内のTMT (Technology, Media & Telecommunications) 業界を対象に、過去3年間の収益(売上高)成長率からなる成長企業50社をランキングするプログラムです。指標を収益成長率とすることで、企業規模によらない成長性を表わしており、当社は今回57%という高い成長率でランクインを果たしました。

## トランスファーネット株式会社を連結子会社化

当社は2010年1月27日、収納代行業務の委託先である関連会社トランスファーネット株式会社を連結子会社化しました。同社株式の一部を株式会社エヌ・ティ・ティ・データより譲受け、当社の持株比率を従来の49.4%から66.0%としたことによるものです。この子会社化を通じて当社は、トランスファーネット株式会社との業務上の連携を今まで以上に強化し、企業グループとして経営効率の向上を果たしていく考えです。

## 本社事務所の新設および本店所在地の移転

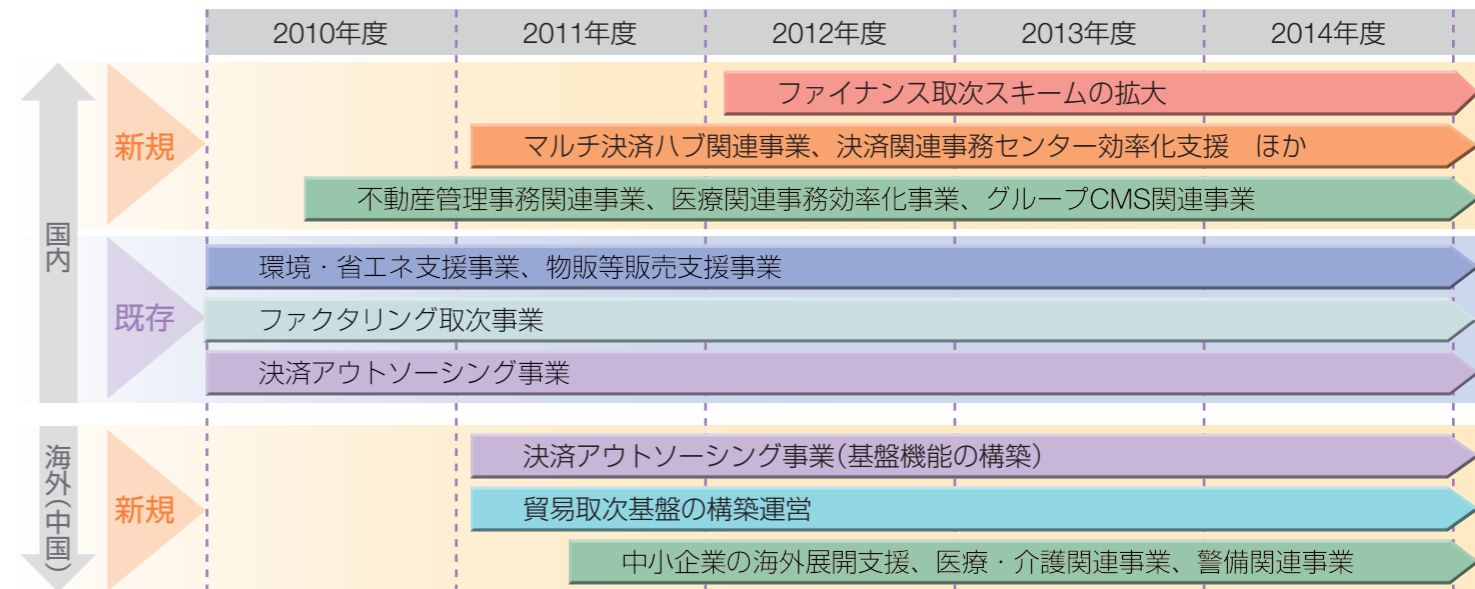
2010年11月1日、当社は業容拡大に伴う人員増加への対応を目的として、本社事務所を東京都千代田区に新設いたしました。本社事務所は交通の利便性も高く、従前にも増し、お客様への充実した対応ができるものと考えております。なお、2011年3月、業務の効率化を図るため、本店所在地(東京都港区)を本社事務所と統合し、東京都千代田区へ移転しております。

## カード業界のセキュリティ基準「PCIDSS」を認証取得

2010年11月26日、当社はクレジットカード産業向けの国際的データセキュリティ基準である「PCIDSS (Payment Card Industry Data Security Standard)」の認証を取得しました。決済サービスという社会的インフラを提供する当社にとって、高度なセキュリティと信頼性の確保は、企業存続の前提条件です。すでに認証を取得している「プライバシーマーク」「ISMS」に加え、極めて具体的・定量的な「PCIDSS」の認証取得を通じて、一層高度なセキュリティとシステム運用レベルを維持してまいります。

### ▶事業展開ロードマップ

- BPO業務に関連する投資はパートナー企業との共同出資等により投資額を一定範囲に抑制し、自走式のビジネスモデルをより強固なものとする計画です。



## 会社概要

会社名 ビリングシステム株式会社  
(英文名: Billing System Corporation)  
本社 〒100-0011  
東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー13F  
設立 平成12年6月5日  
資本金 1,154百万円  
従業員数 27名

## 役員 (2011年3月25日現在)

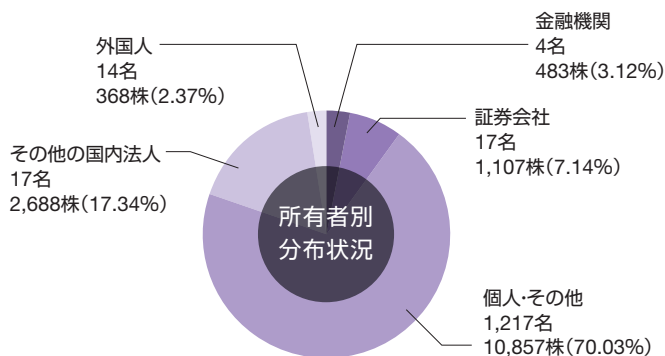
代表取締役社長 江田敏彦  
取締役 住原智彦  
取締役 金山佳正  
取締役 高松広明  
社外取締役 大光寺尚  
株式会社NTTデータフロンティア 代表取締役常務  
常勤監査役 窪小谷隆  
社外監査役 松尾 眞  
桃尾・松尾・難波法律事務所パートナー弁護士  
社外監査役 山田啓介  
公認会計士・税理士山田啓介事務所 主宰

## 株式の状況

発行可能株式総数..... 60,812株  
発行済株式の総数..... 15,503株  
株主数 ..... 1,269名

## 大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	1,100	7.09
江田 敏彦	1,065	6.86
窪小谷 隆	821	5.29
キヤノンITソリューションズ株式会社	525	3.38
株式会社大塚商会	500	3.22
住原 智彦	443	2.85
EDAM株式会社	400	2.58
楽天証券株式会社	393	2.53
柿久保 譲	353	2.27
西田 井太郎	300	1.93



## 株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで  
定時株主総会 毎年3月中  
期末配当基準日 12月31日  
中間配当基準日 6月30日  
上場市場 東京証券取引所 マザーズ市場  
証券コード 3623  
株式の売買単位 1株  
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
郵便物送付先 (電話照会先) 電話0120-78-2031(フリーダイヤル)  
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。  
公告方法 電子公告により、当社ホームページ(ただし事故その他やむをえない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。)  
住所変更等のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。  
「配当金計算書」について 配当金支払の際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。  
※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

## ホームページご紹介

当社はホームページを開設しております。決算情報や各種IR資料を掲載し、皆様からのアクセスをお待ちしております。

<http://www.billingjapan.co.jp/>

[トップページ]



[IRサイト]



ビリングシステム株式会社  
〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー13F  
TEL. 03-5501-4400 (代表) FAX. 03-5501-4401